

北海道爬虫両棲類研究会第11回大会

プログラム

北海道爬虫両棲類研究会では下記の予定で、一般聴講も可能な講演会を行います。北海道ならではの両生類や爬虫類の様々なお話、現状などをお伝えする会となっております。第11回は東海大学生物学部生物学科自然生態系研究室准教授、鈴木大先生による「北海道に生息するツチガエルは外来種なのか」と北海道爬虫両棲類研究会 副会長、徳田龍弘による「最近のトノサマガエルの分布拡大について」です。

場所

札幌市円山動物園・動物園科学館ホールにて

1月20日(土) 開演:9:50~

10:00~10:10 開会あいさつ

10:10~10:40 基調講演:「北海道に生息するツチガエルは外来種なのか」

○鈴木大(東海大)、徳田龍弘(北海道爬虫両棲類研究会)、原村隆司(酪農学園大)

10:40~11:00 問題提起:「最近のトノサマガエルの分布拡大について」

○徳田龍弘(北海道爬虫両棲類研究会)

11:00~11:30 質疑応答

12:00~12:30 北海道爬虫両棲類研究会の総会(北海道爬虫両棲類研究会会員のみ)

13:00~15:00 4題の研究発表、ハーブソン表彰を予定

北海道爬虫両棲類研究会の会員対象に、このあと爬虫両棲類館のガイドツアーも予定しています。

料金

聴講無料です

★懇親会

今回の懇親会は、インフルエンザ警報発令中、及び新型コロナウイルス感染症の拡大傾向の観点から、研究会が開催する懇親会は中止いたします。

研究発表題(当日に増減及び順番の入れ替えの可能性あり)発表12分,質疑応答3分 発表者に○

①シカが作る水場で繁殖する両生類たち / ○松浦なる(北大・環境科学院)・岸田治(北大・北方圏 FSC)

②ニホンカナヘビの形態(尾と腹部) / ○竹中践(東海大)

③トノサマ属の鳴き声録音データによる分布域の推定 / ○小笠原安里(帯畜大)・中島直久(帯畜大)

④太陽光発電事業地内で確認されたキタサンショウウオの保全事例~移転による保全対策~/○照井滋晴(PEG)

⑤一題追加の可能性あり

番外 ハーブソン2023 結果発表 / ○徳田龍弘(北爬会)